

株式会社 GSIクレオス

2024年3月期

決算説明会

2024年6月18日



- 2024年3月期 決算概要 2
- 2025年3月期 業績予想 11
- 中期経営計画 “ GSI CONNECT 2024 ” の進捗 . . . 16
- 株主還元 30
- 参考資料 34

2024年3月期 決算概要



Point

先行き不透明な状況が続く中、前期業績を上回る売上高および利益を計上

- ・ 繊維事業：前期比で増収増益。アパレル関連の取引で苦戦を強いられるも、全セグメントで増収増益。
- ・ 工業製品事業：前期比で減収減益。ケミカル関係の取引が堅調に推移するも、半導体関連の取引が長引く在庫調整により苦戦。

経営成績（百万円）	2023年3月期	2024年3月期	前期比 （金額）	前期比 （％）
売上高	131,054	146,194	<u>15,140</u>	<u>11.6</u>
売上総利益	14,020	16,151	<u>2,130</u>	<u>15.2</u>
販売費及び一般管理費	12,190	13,269	1,078	8.8
営業利益	1,829	2,881	<u>1,051</u>	<u>57.5</u>
営業利益率（％）	1.4％	2.0％	0.6pt	—
経常利益	1,787	2,999	<u>1,211</u>	<u>67.8</u>
親会社株主に帰属する当期純利益	1,769	2,019	<u>250</u>	<u>14.2</u>

セグメント別業績（前期比）売上高

全社売上高

2023年3月期 131,054百万円

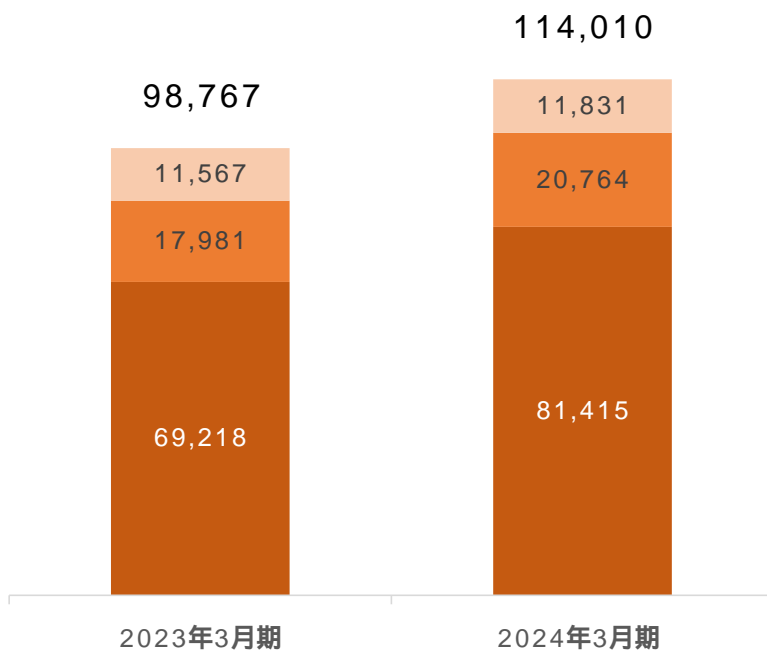


2024年3月期 146,194百万円

繊維事業

(百万円)

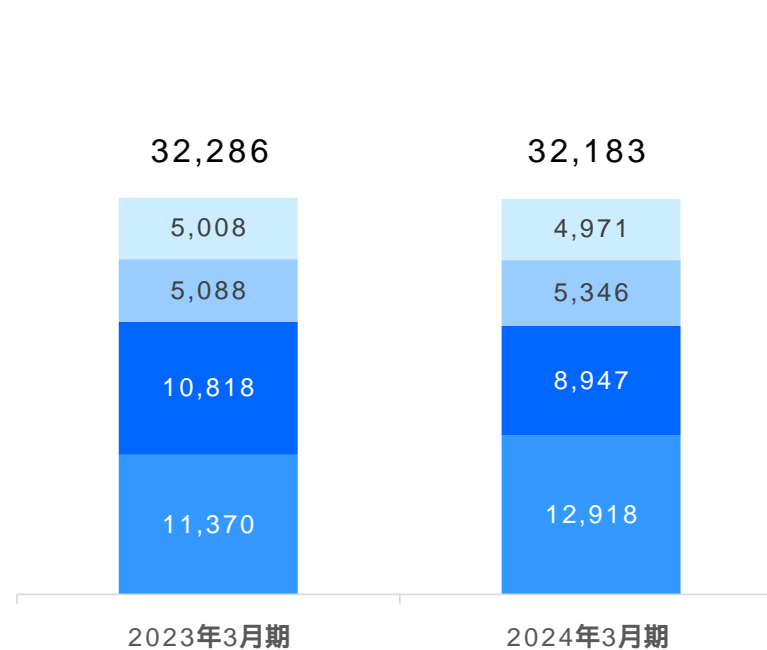
■ ファイバー ■ アウター ■ インナー



工業製品事業

(百万円)

■ セミコンダクター ■ ケミカル
■ ホビー&ライフ ■ マシナリー&イクイップメント



セグメント別業績（前期比） 営業利益

全社営業利益

2023年3月期 1,829百万円

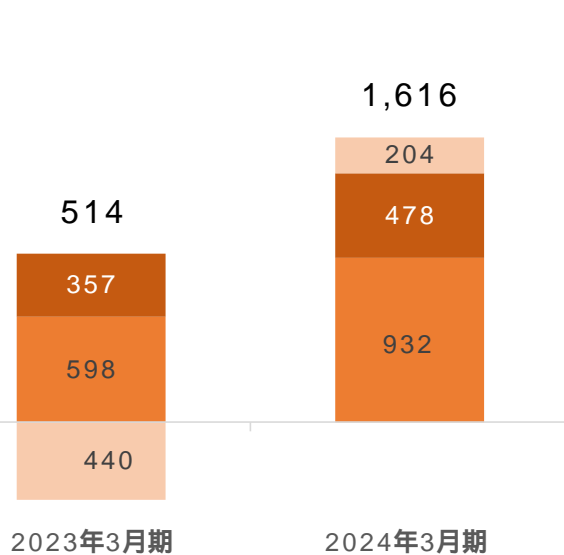


2024年3月期 2,881百万円

繊維事業

(百万円)

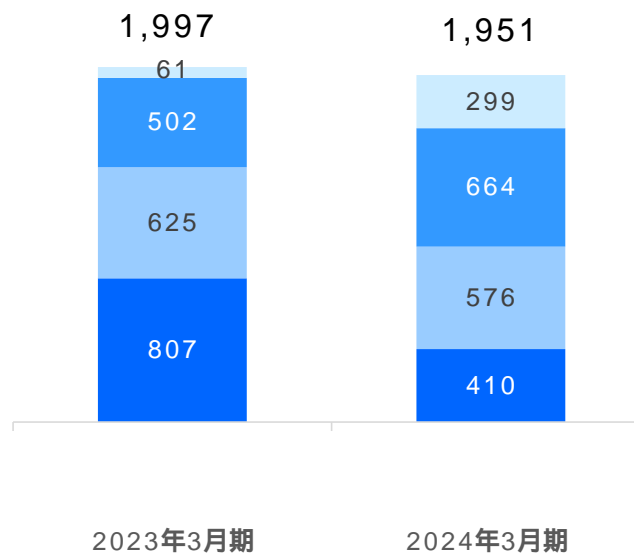
■ アウター ■ ファイバー ■ インナー



工業製品事業

(百万円)

■ セミコンダクター ■ ホビー&ライフ ■ ケミカル ■ マシナリー&イクイップメント

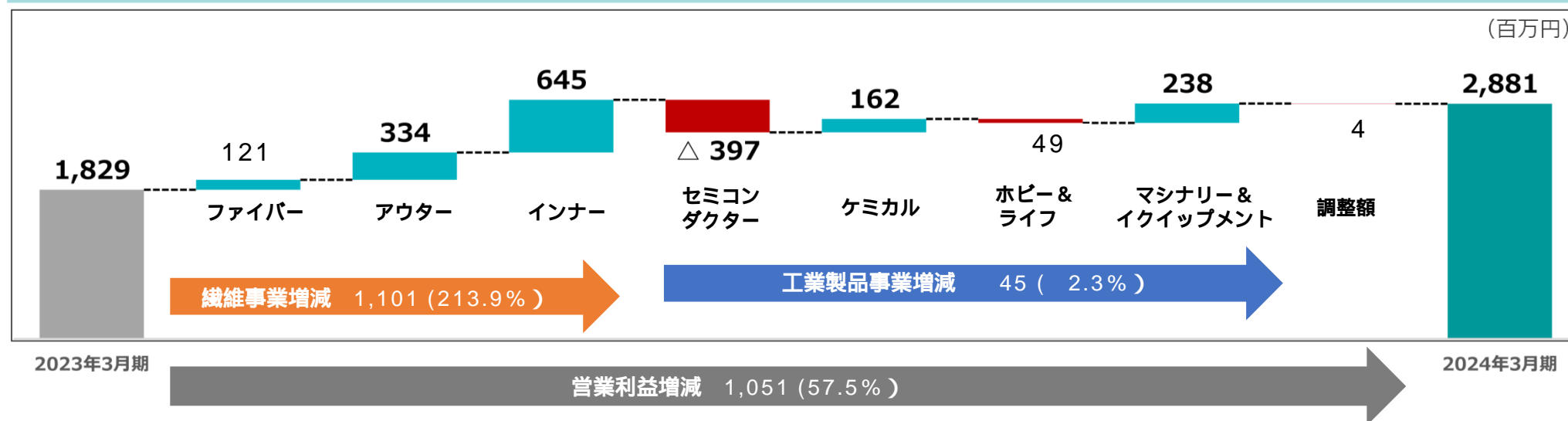


調整額

(百万円)



セグメント別業績（前期比） 営業利益 推移



セグメント別 状況

繊維事業	
ファイバー	インナー用機能系・生地が取引が順調に推移し、レッグ用糸の取引が伸長。
アウター	アパレル関連の取引が子会社をはじめ苦戦を強いられたものの、欧米向けの生地は輸出取引が好調に推移。
インナー	為替変動や原料高による販売価格の調整が進み、加えてインナー・ソックス関連の取引が改善。

工業製品事業	
セミコンダクター	半導体市場の長引く在庫調整や米国の対中半導体輸出規制の影響により、中国の販売子会社の取引が減少。
ケミカル	機能性樹脂・フィルム取引、塗料原料の取引ともに、国内外の需要が堅調に推移。
ホビー&ライフ	ホビー関連の取引が海外の需要回復を背景に堅調に推移するも、化粧品原料の取引が低調。
マシナリー&イクイップメント	大型機械の受注が伸び悩んだものの、機械装置販売に付随する受託加工サービスや理化学機器販売が堅調に推移。

連結貸借対照表

Point

【総資産】売上債権の増加などにより増加。

【負債】仕入債務の増加などにより増加。

【純資産】親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加などにより増加。

経営成績 (百万円)	前期末 (2023年3月末)	当期末 (2024年3月末)	前期末比
総資産	69,412	75,336	5,924
負債	43,482	47,886	4,403
(ネット有利子負債)	6,283	5,539	743
純資産	25,929	27,450	1,520
自己資本	25,929	27,450	1,520
自己資本比率	37.4%	36.4%	1.0pt

キャッシュ・フローの状況

Point

【営業活動によるCF】税金等調整前当期純利益の計上などにより183百万円の収入。

【投資活動によるCF】有形固定資産の売却による収入などにより1,486百万円の収入。

【財務活動によるCF】短期借入金の純増減額などにより43百万円の収入。

経営成績 (百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比
営業活動によるCF	1,719	183	1,903
投資活動によるCF	1,257	1,486	228
(フリー・キャッシュ・フロー)	462	1,669	2,131
財務活動によるCF	632	43	589
換算差額	103	106	2
現金・現金同等物の増減額	274	1,819	1,544

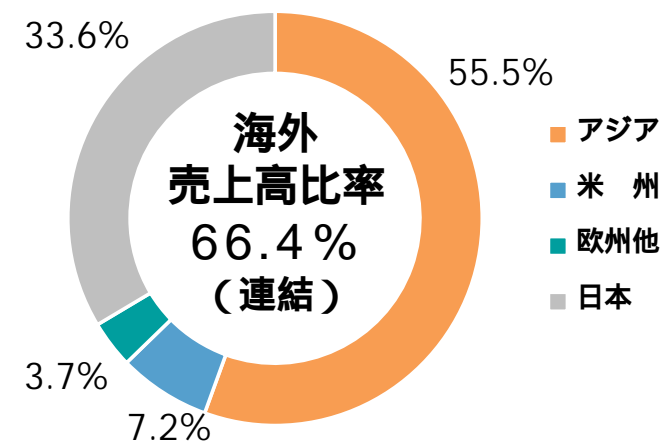
Point

- ・各地域の売上高が前期を上回り、高水準を維持
特にアジア地域の売上高が大きく増加し、全体の海外売上高比率は66%を超える。

(百万円)

地 域	2023年3月期		2024年3月期		前 期 比	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (pt)
アジア	68,317	52.1	81,139	55.5	12,822	3.4
米 州	10,458	8.0	10,513	7.2	55	0.8
欧州他	4,432	3.4	5,445	3.7	1,013	0.3
海外売上高	83,208	63.5	97,099	66.4	13,891	2.9

2024年3月期 地域別売上高構成比



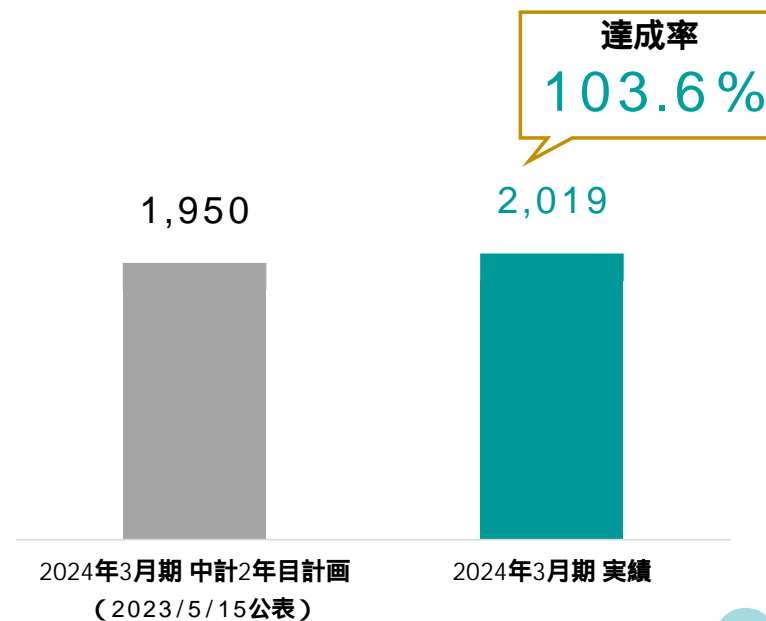
アジア：主に中国、香港 米州：主にアメリカ、ブラジル

Point

- ・ アパレル電子商取引（Eコマース）子会社に係るのれん減損処理により、特別損失（491百万円）を計上するも、**中期経営計画2年目および直近公表予想の全利益項目を上回る。**
- ・ 連結業績結果をもとに、期末（年間）配当金は、**前期比10.0円増配の83.0円。**

項目（百万円）	2024年3月期 中計2年目 計画 (2023/5/15公表)	2024年3月期 直近公表予想 (2024/2/2公表)	2024年3月期 実績
売上高	137,000	147,000	146,194
営業利益	2,800	2,800	2,881
経常利益	2,800	2,800	2,999
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,950</u>	<u>2,000</u>	<u>2,019</u>
<u>1株当たり配当金</u>	<u>80.0円</u>	<u>82.0円</u>	<u>83.0円</u>

親会社株主に帰属する当期純利益
中計2年目計画との比較



2025年3月期 業績予想



事業に影響する外部環境要因

対応策

グローバルレベルでの不安定な経済構造

- 地政学リスクの高まり
- 原材料や資源価格の高騰
- 為替相場の急激な変動

- 国内外グループ拠点の連携強化
- 適切な価格調整や差別化戦略の強化
- 為替リスクヘッジの徹底

社会システムや価値観の変化

- テクノロジーの進化
- 新しい生活様式の浸透による消費者マインドの変化
- サステナビリティの重要性の高まり

- DXの推進による生産性と収益性の向上
- SDGsに資する事業の深耕
- マテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じたESG経営の推進

2025年3月期業績予想

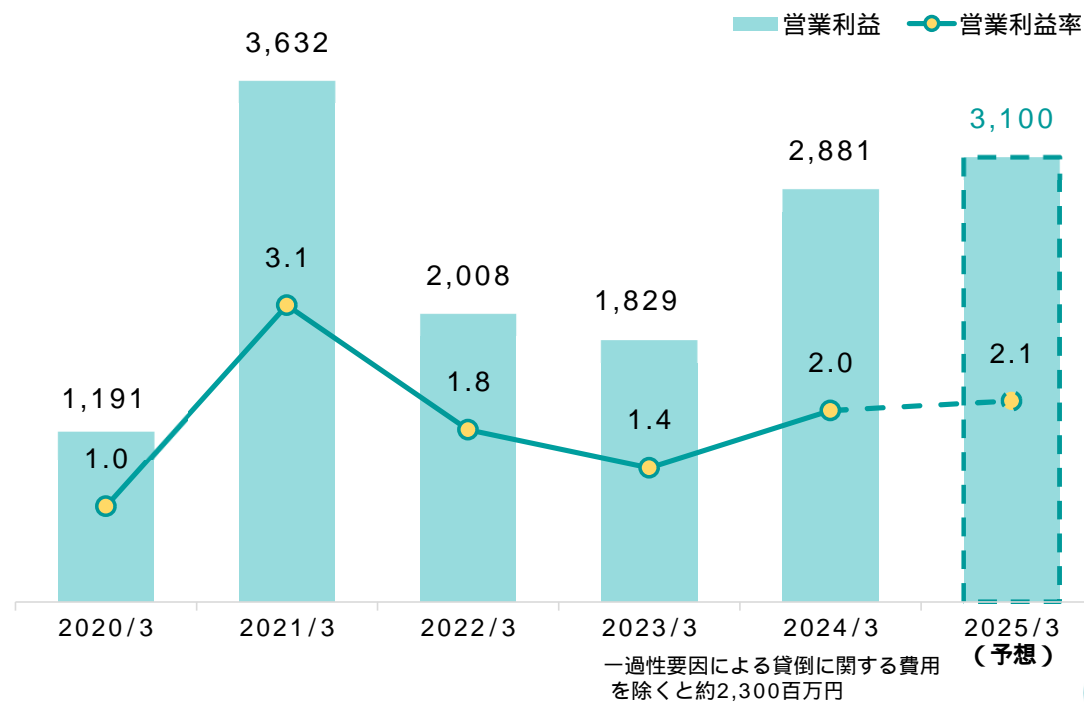
Point

前期実績比で増収増益を予想

機能系・生地の上拡大、ケミカルやホビー関連をはじめとする工業製品事業の更なる成長。

項目(百万円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想
売上高	146,194	150,000
営業利益	<u>2,881</u>	<u>3,100</u>
経常利益	2,999	3,100
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,019	2,200

営業利益および営業利益率の推移

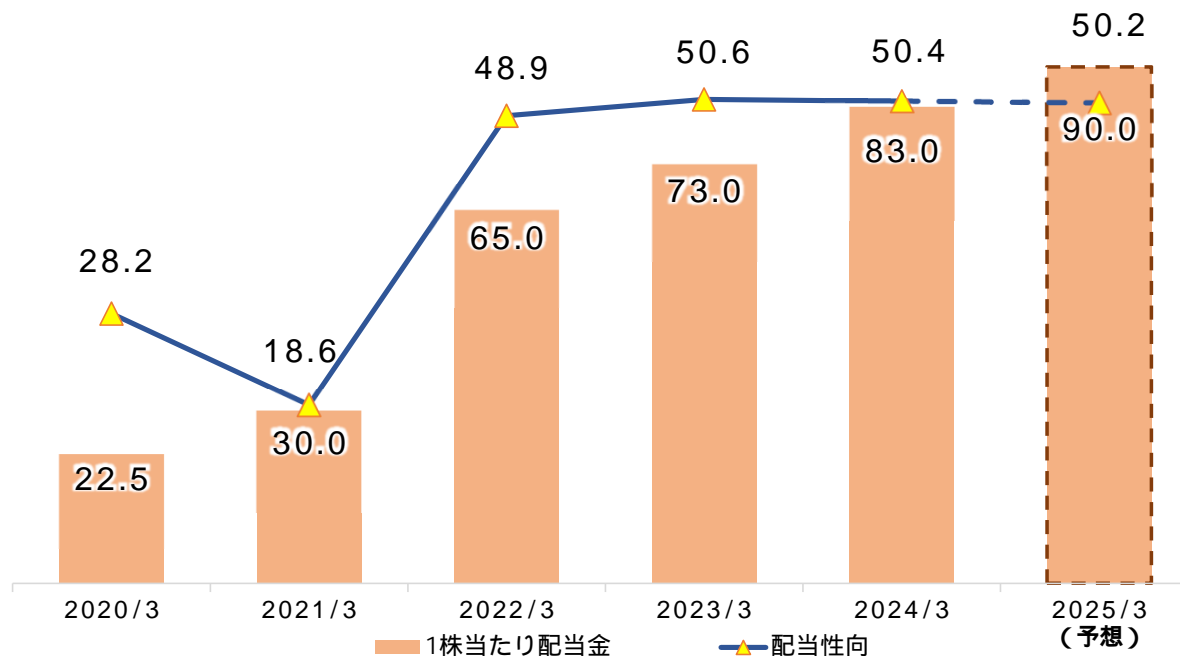


2025年3月期配当予想

Point

年間（期末）配当金：前期比で7.0円増配となる90.0円
中期経営計画で掲げる配当性向50%を継続し、9期連続の増配を予想。

1株当たり配当金および配当性向の推移



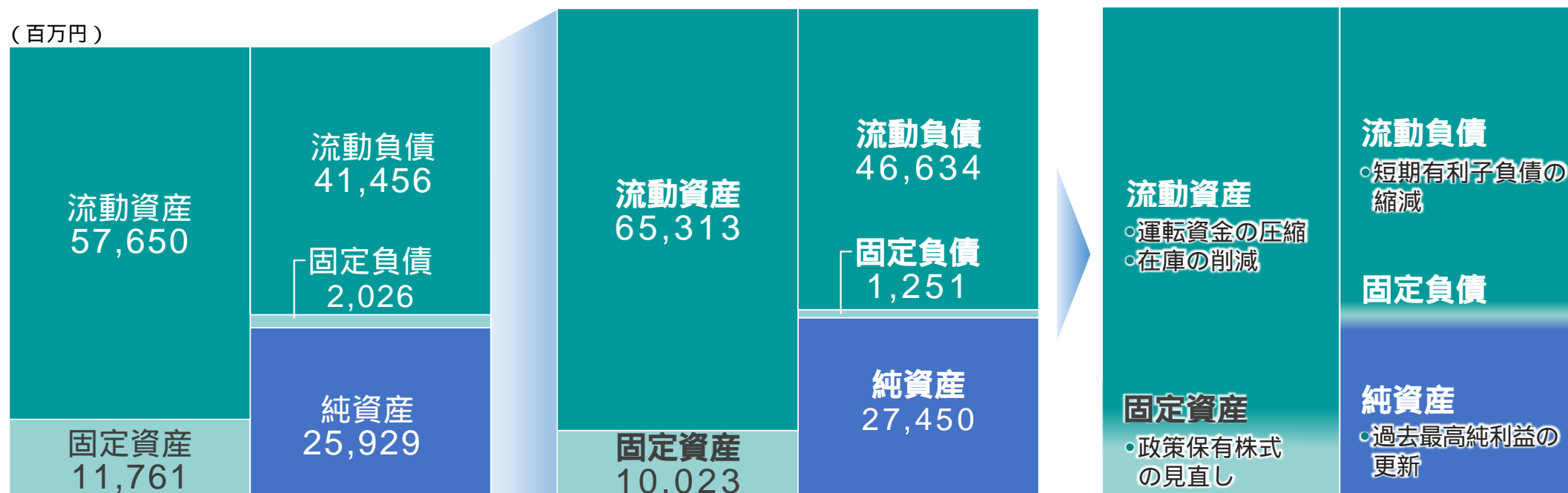
2021年4月1日に株式分割（1株 2株）を実施。2020年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算出。

項目	2025年3月期予想
1株当たり配当金	90.0円
配当性向	50.2%

資産のポートフォリオの最適化を図り、資本効率の向上や財務体質を強化

2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 37.4%	自己資本比率 36.4%	自己資本比率（中計目標） 40.0%

（百万円）



- 固定資産（賃貸住宅物件）の譲渡
- 保険代理店事業の譲渡 など

中期経営計画

“ GSI CONNECT 2024 ” の進捗

次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する

パーパス
(2022年)

コーポレートメッセージ
Produce the Future
次代をつくる

グループスローガン
Weave a New Story
つむぐ・つなぐ・つなげる

存在理念(2001年)

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。**次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサー**として、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、G S I クレオスと価値を共創する**すべての当事者の幸せを実現します。**

存在理念

経営理念

行動理念

ビジョン

事業創造型商社として
ニッチな分野で新しい価値を提供し、
サステナブルな社会づくりに貢献する

2つの挑戦

- ▶ 過去最高純利益の更新
- ▶ 資本市場からの
信頼度のさらなる向上

3つの重点施策

- ▶ サステナブル事業分野への
積極投資
- ▶ 人材の充実と
新しい働き方の推進
- ▶ 実効性の高い
ガバナンス体制の強化

株主還元

“ GSI CONNECT 2024 ” ~ つむぐ・つなぐ・つなげる ~

新たなストーリーをつむぐために、繊維と工業製品のConnect、グループ各社のConnect、ビジネスパートナーとのConnect、地域・社会とのConnectにより当社グループの強みを発揮しながら、3年間で当社グループをさらに進化・成長させて、新たなステージへConnectする。

成長ドライバー

工業製品事業

成長著しい分野にてシェア拡大を図り
当社成長を牽引する事業

基幹事業

繊維事業

新規性と機能性を付加し続け、
安定的な成長を目指す事業

中期経営計画 “ GSI CONNECT 2024 ” の推移

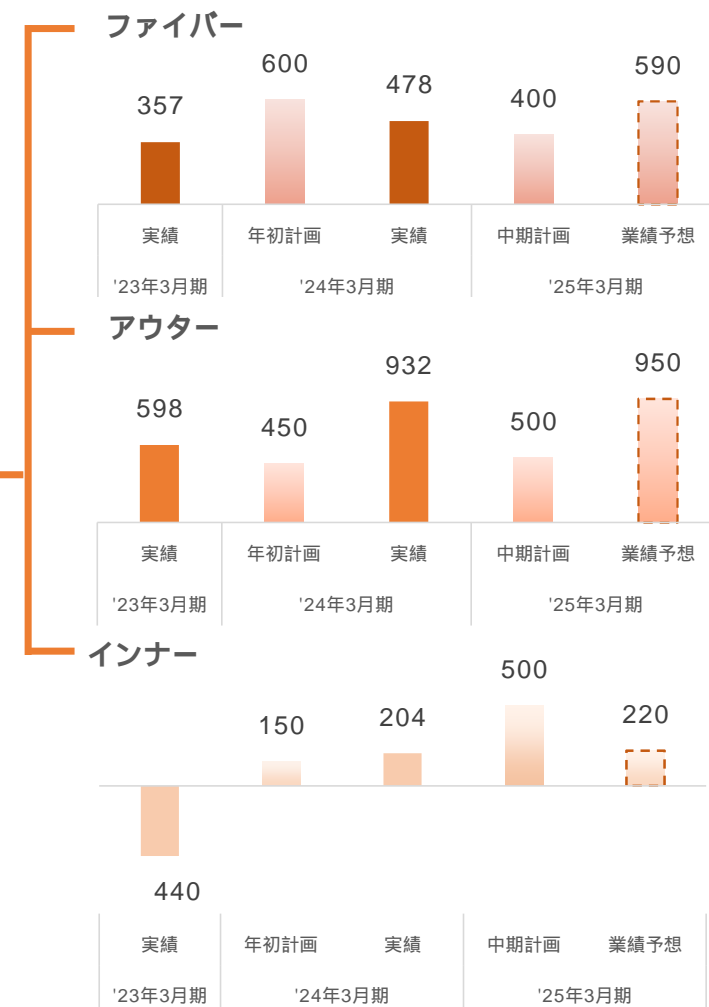
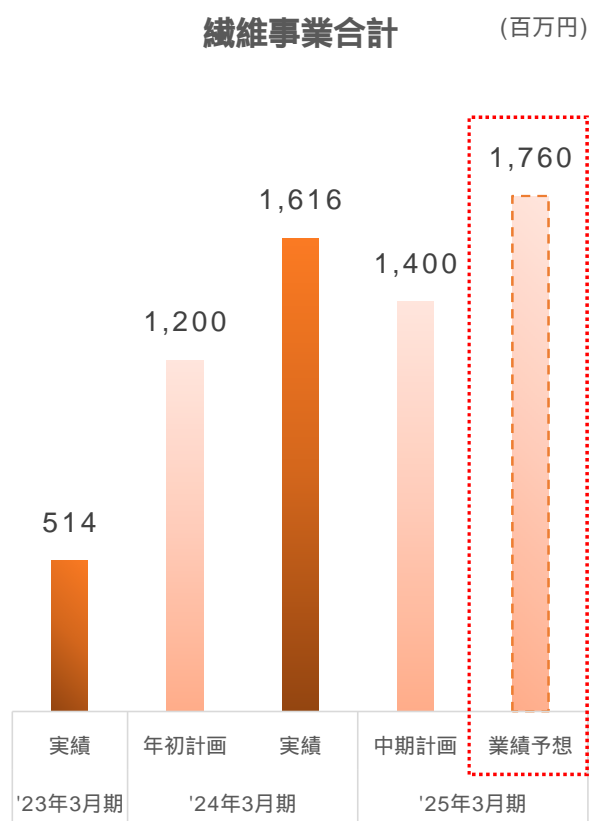
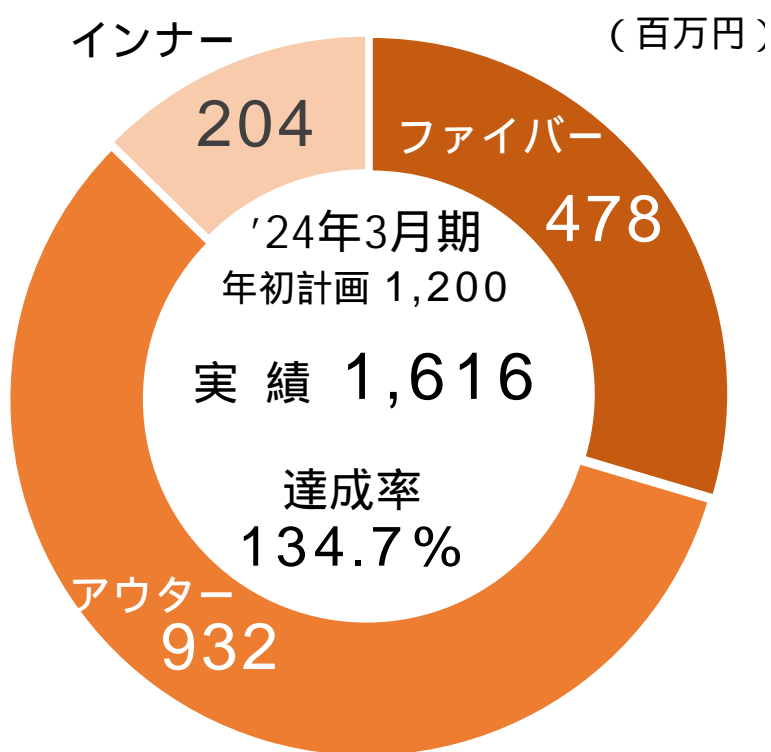
Point

- ・ 中計2年目となる2024年3月期業績は、すべての項目で前期を上回る結果となり、最終年度にむけて計画は順調に推移。
- ・ 5/15公表予想（2025年3月期）
計画策定時に比べて、原材料や人件費をはじめとする経費高など事業環境が大きく変化しているが、売上高および純利益で最終目標を達成し、「過去最高純利益の更新」を見込む。

項目（百万円）	2023年3月期 （中計初年度） 実績	2024年3月期 （中計2年目） 実績	2025年3月期		
			2024/5/15 公表予想	前期実績比	中計最終年度 計画
売上高	131,054	146,194	150,000	102.6%	135,000
繊維事業	98,767	114,010	110,939	97.3%	95,000
工業製品事業	32,286	32,183	39,061	121.4%	40,000
営業利益	1,829	2,881	3,100	107.6%	3,500
経常利益	1,787	2,999	3,100	103.4%	3,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	<u>1,769</u>	<u>2,019</u>	<u>2,200</u>	109.0%	<u>2,200</u>

中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

繊維事業



ファイバー

事業内容

- 原糸、繊維原料の国内外販売
- 原糸、繊維原料の輸出入
- メディカル繊維原料・製品の製造加工、販売

今後に向けた取組み

- 素材加工力を活かした独自性・機能性の高い商材の展開
- メディカル繊維原料・製品開発に注力

アウター

事業内容

- アパレル製品のOEM、ODM
- テキスタイル・アパレル製品の卸売り、輸出入
- 自社ブランド製品の販売

今後に向けた取組み

- 海外アパレル向け生地 of 拡販
- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業の拡大
- EC事業の収益力の向上

インナー

事業内容

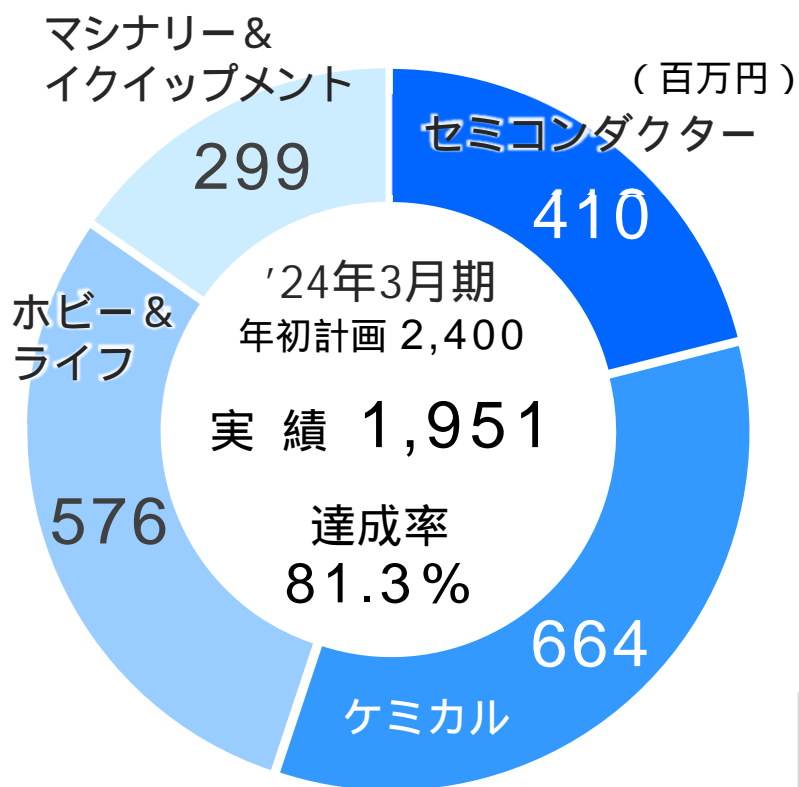
- インナー製品のOEM、ODM、販売、輸出入
- インナー用生地 of 開発、販売
- 自社ブランド製品の販売

今後に向けた取組み

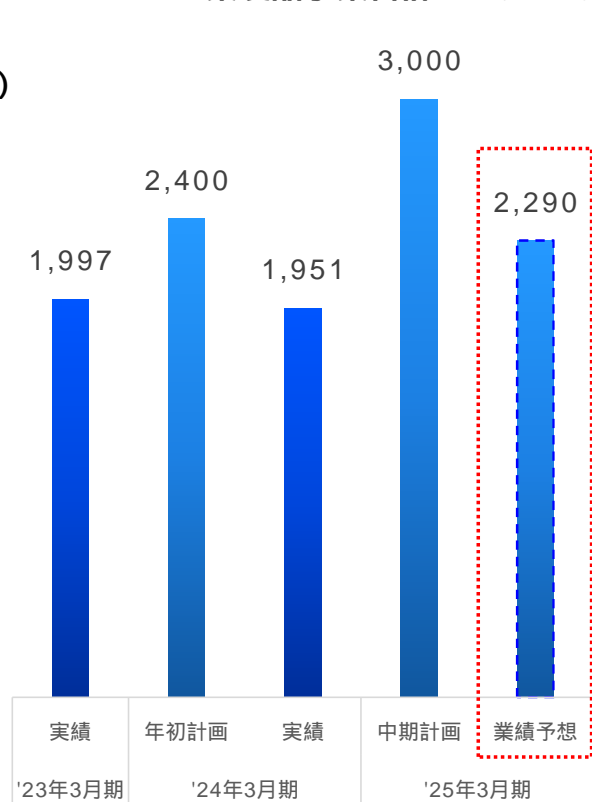
- 企画提案力の強化によるOEM・ODM事業 of 拡大
- 海外販売への計画的な取組み

中期経営計画におけるセグメント別業績目標（営業利益）

工業製品事業



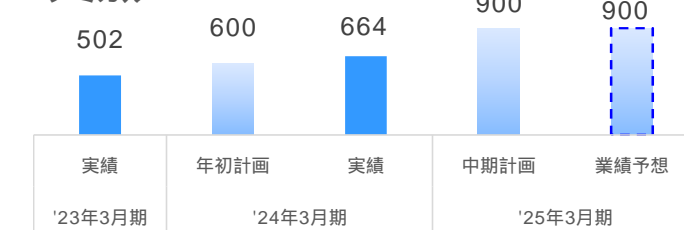
工業製品事業合計 (百万円)



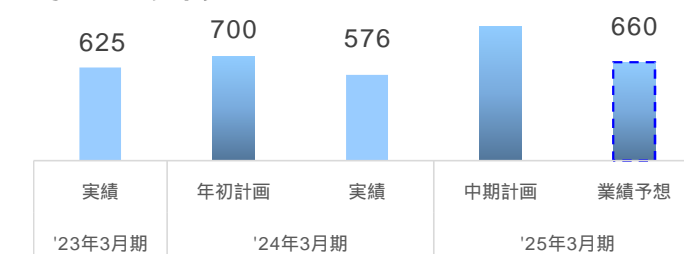
セミコンダクター



ケミカル



ホビー&ライフ



マシナリー&イクイップメント



セミコンダクター

事業内容

- 最先端半導体製造装置用部材の輸出入
- 汎用性半導体部材の輸出入
- 半導体製造設備用の部材の輸出入

今後に向けた取組み

- 供給・販売ルート of 拡充
- 日本製半導体関連商材の海外拡販
- 海外製半導体関連商材の日本市場拡販

ケミカル

事業内容

- 塗料原料、その他化学品の輸出入
- 機能性プラスチック樹脂の輸入
- フィルムの国内販売
- カーボンナノチューブの開発・製造・販売

今後に向けた取組み

- グループ連携による塗料原料の拡販
- 機能性樹脂・フィルムの拡販
- 有機・無機半導体関連商材の拡販

ホビー&ライフ

事業内容

- ホビー関連商材の国内・海外販売
- 化粧品原料の輸入
- 化粧品原料の国内販売
- 健康食品の国内販売

今後に向けた取組み

- 新製品の投入による国内販売の更なる強化
- 自社ブランド品（模型塗料など）の海外販売の強化
- 他社ブランド品の海外販路の構築
- グループ連携による化粧品原料の国内外での販売

マシナリー&イクイップメント

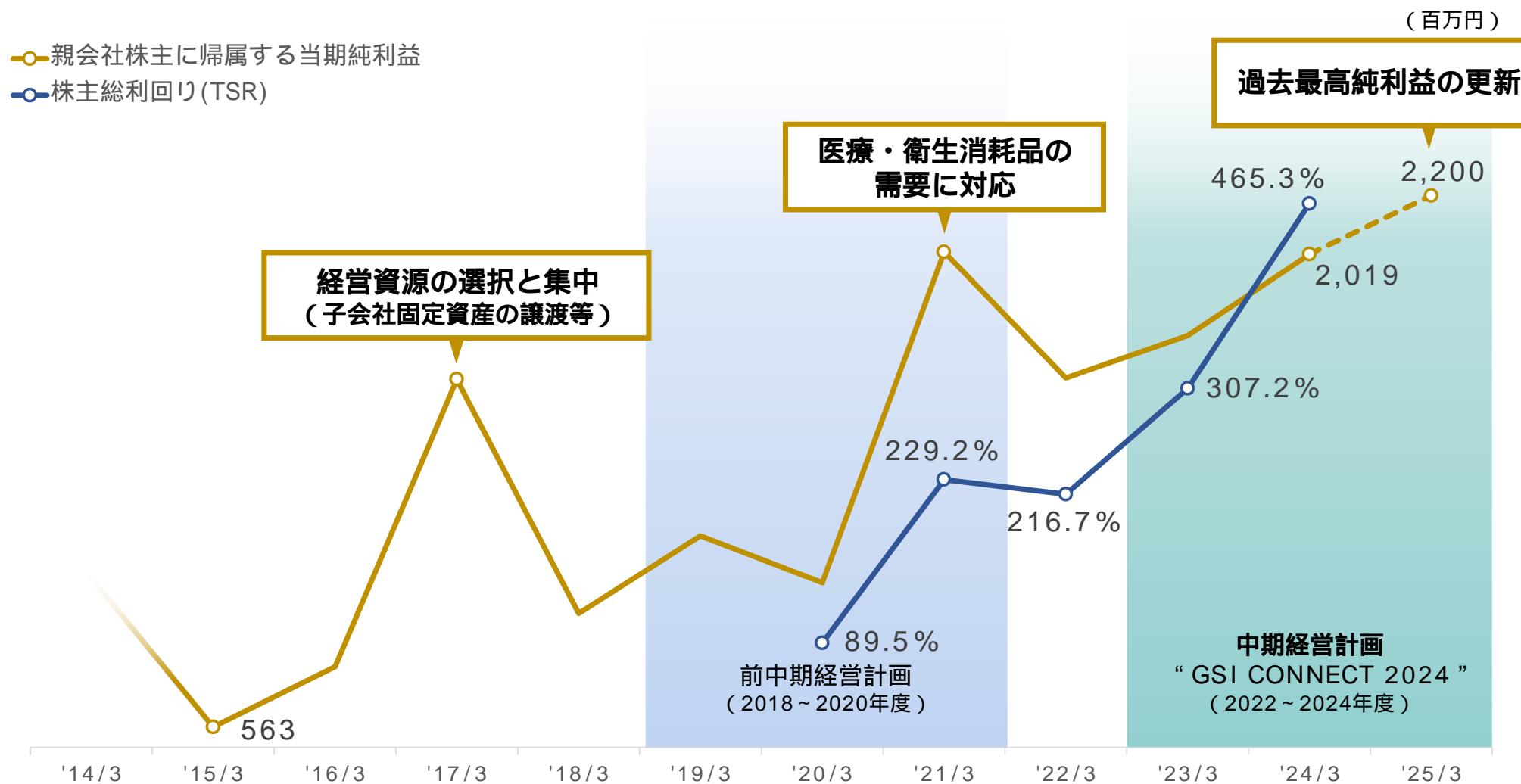
事業内容

- 産業機械・理化学機器の輸入販売
- 産業機械・理化学機器のメンテナンス
- 複合材成形設備・材料の輸入販売
- 炭素繊維強化樹脂の開発・製造・販売

今後に向けた取組み

- 大手メーカーとの連携により、複合材料成形設備・部材や塗料装置の拡販
- 炭素繊維強化樹脂（CFRP）の用途拡大
- 理化学機器の拡販、メンテナンスに注力

親会社株主に帰属する当期純利益および株主総利回り(TSR)の推移



成長ドライバー：工業製品事業

基幹事業：繊維事業

E S

1. サステナブル事業分野への積極投資

- 環境：生分解性樹脂事業
サステナブル繊維原料・製品事業
ナノテクノロジー事業
- 生活・健康：ホビー関連事業
メディカル関連事業
- エネルギー：軽量化事業（自動車、社会インフラ）
半導体関連事業
有機半導体事業（CO₂排出量低減）

2. 人材の充実と新しい働き方の推進

- 多様な人材が活躍する環境の整備
- 人材育成強化のための研修制度の充実化
- ITを活用した業務オペレーションの効率化

G

3. 実効性の高いガバナンス体制の強化 （プライム市場に求められるガバナンスの実践）

- 監督と執行の分離体制の促進
- 指名・報酬に関する公正な審議体制の構築、運営
- ステークホルダー向け情報の充実

1. サステナブル事業分野への積極投資 事例

ブラジルにて透析クリニック事業の拡大



当社は、2015年にブラジルの人工透析装置市場に参入後、2019年に現地で影響力のある透析クリニックに出資した。事業は順調に拡大しており、**新たなクリニックへの出資を計画するとともに**、透析クリニックの人脈を活用して、南米における透析装置販売事業のさらなる拡大に注力する。



Source: Brazilian Journal of Nephrology



クリニック
玄関

▶クリニック
治療室

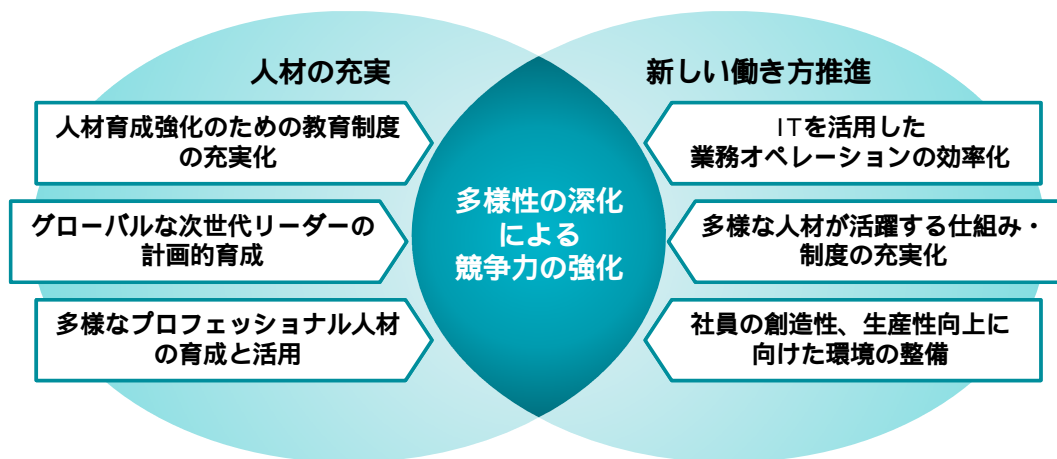
2.人材の充実と新しい働き方の推進 事例

生産性向上による企業価値の拡大

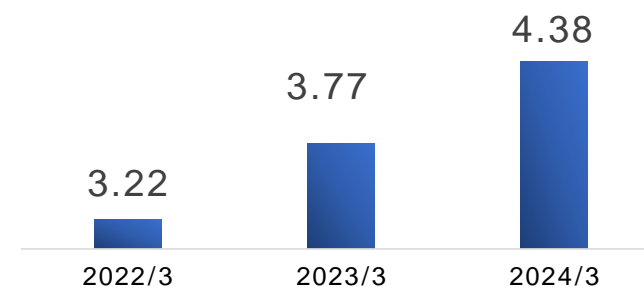


当社グループの人材戦略

中期経営計画の重点施策として、「人材の充実」と「新しい働き方の推進」を掲げ、多様性の深化による競争力の強化を目指す。



一人当たり営業利益（連結）（百万円）



一過性要因を除く2,300百万円の数値を使用

- 米国での採用活動によるグローバル人材の確保
- 新入社員長期研修の実施、メンター制度の導入
- グループ規模での海外研修生制度の実施
- 女性管理職や女性役員の積極的登用
- スペシャリストの育成・採用
- ベースアップの継続的实施

3.実効性の高いガバナンス体制の強化 事例



ステークホルダー向け情報開示の充実

当社グループの取り組みをより理解いただけるよう、適切な情報を適時に開示する。
また、ステークホルダーの皆さまの意見を適切に経営に反映できるよう、建設的な対話の機会を充実させていく。

情報開示の形式と対話の方針

【情報開示】

年2回（中間期および期末）の決算説明会を実施し、事業計画に対する進捗状況を説明。

【対話方針】

開示内容にもとづき、社長執行役員による個別面談を積極的に実施。
対話の内容を参考にし、事業改善に向け適宜アップデートしていく。



直近の主なニュースリリース

- 2023年 4月 ナノテクトのサウジアラムコでの採用
- 2023年 5月 プライム市場上場維持基準適合
- 2023年 7月 有機薄膜太陽電池事業への追加投資
- 2023年 8月 人事コンサルティング企業への出資
- 2023年 9月 革新的多機能材料創製 共同事業開始
- 2023年11月 インド・ムンバイに現地法人設立
- 2023年12月 ベトナム・ハノイに現地法人設立
- 2023年12月 再生プラスチックの機能回復研究開始
- 2024年 2月 東北営業所の新設と
資産ポートフォリオの最適化
- 2024年 4月 熊本営業所の新設

株主還元

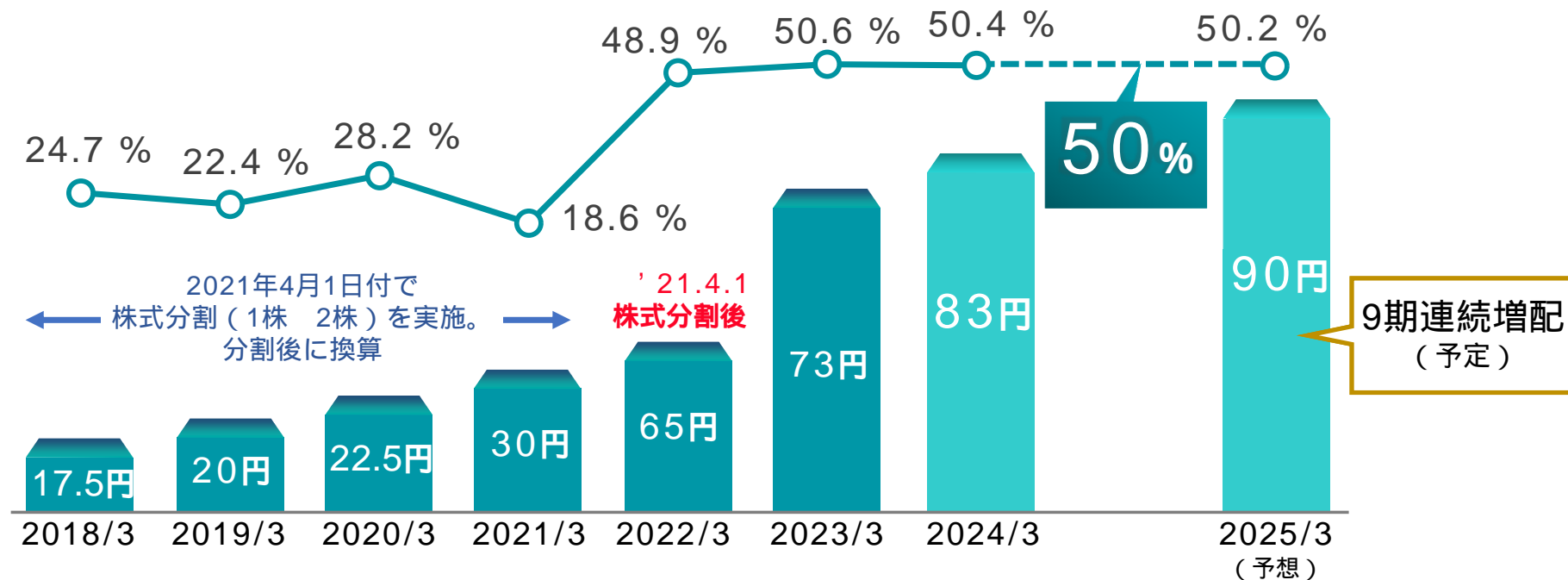


基本方針

安定的かつ継続的な利益還元を実施する

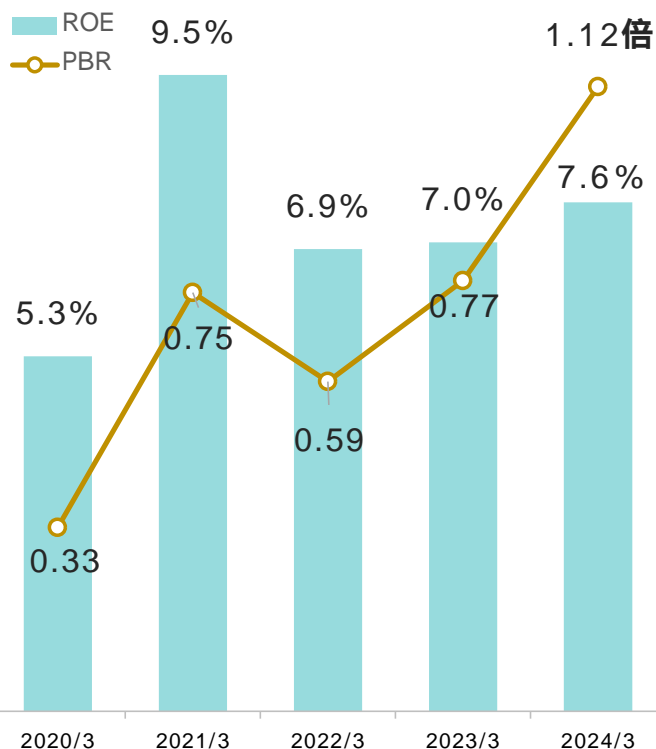
● 配当性向を50%とする

● 機動的な自己株式取得

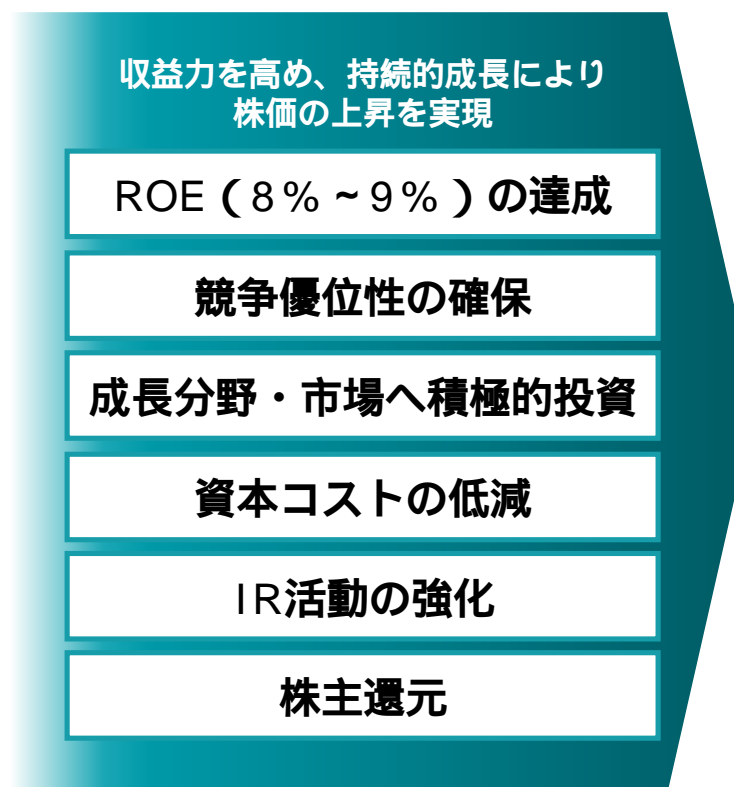


PBRの改善に向けて企業価値を高める

当社PBRとROEの推移（直近5年間）



PBR改善、企業価値向上に向けた諸施策



- 既存ビジネスの成長や投資（積極的なM&A）による事業の拡大
- 高付加価値事業の積極的推進
- 配当性向50%の継続
- 投資家との積極的対話の継続および情報開示の充実化

$$\text{PBR（株価純資産倍率）} = \text{PER（株価収益率）} \times \text{ROE（自己資本利益率）}$$

経営資源配分の最適化により、成長分野や強化分野への投資を実施

事業投資

- 有機薄膜太陽電池向け高分子事業（カナダ）
- 南米メディカルクリニック事業（ブラジル）
- 省庁や大学との共同研究事業（生分解性樹脂、ナノ、乳がん患者用入浴着等）
- 食品用天然着色料加工事業（タイ）

DX関連投資

- DX推進プロジェクト推進
- 新基幹システム導入決定・開始
- ペーパーレス化や社内業務デジタル化
- DX人材育成

人材・教育 関連投資

- 国際性豊かな人事コンサルティング企業と資本・業務提携
- 従業員エンゲージメント向上に向けた施策の実施
- クレオスアカデミーの運営・拡充

事業基盤整備 投資

- 中国事業構造改革（拠点再編、機能拡充）
- 国内外拠点の拡充（海外：インド、ベトナム、国内：東北、熊本）
- オフィス移転や支店の施設・設備拡充による業務効率の向上

參考資料



設立

1931年（昭和6年）10月31日

売上高

1,461億円（2024年3月期 連結）

従業員数

658名（2024年3月末 連結）

代表取締役 社長執行役員

吉永 直明

本社所在地

東京都港区芝 3 - 8 - 2

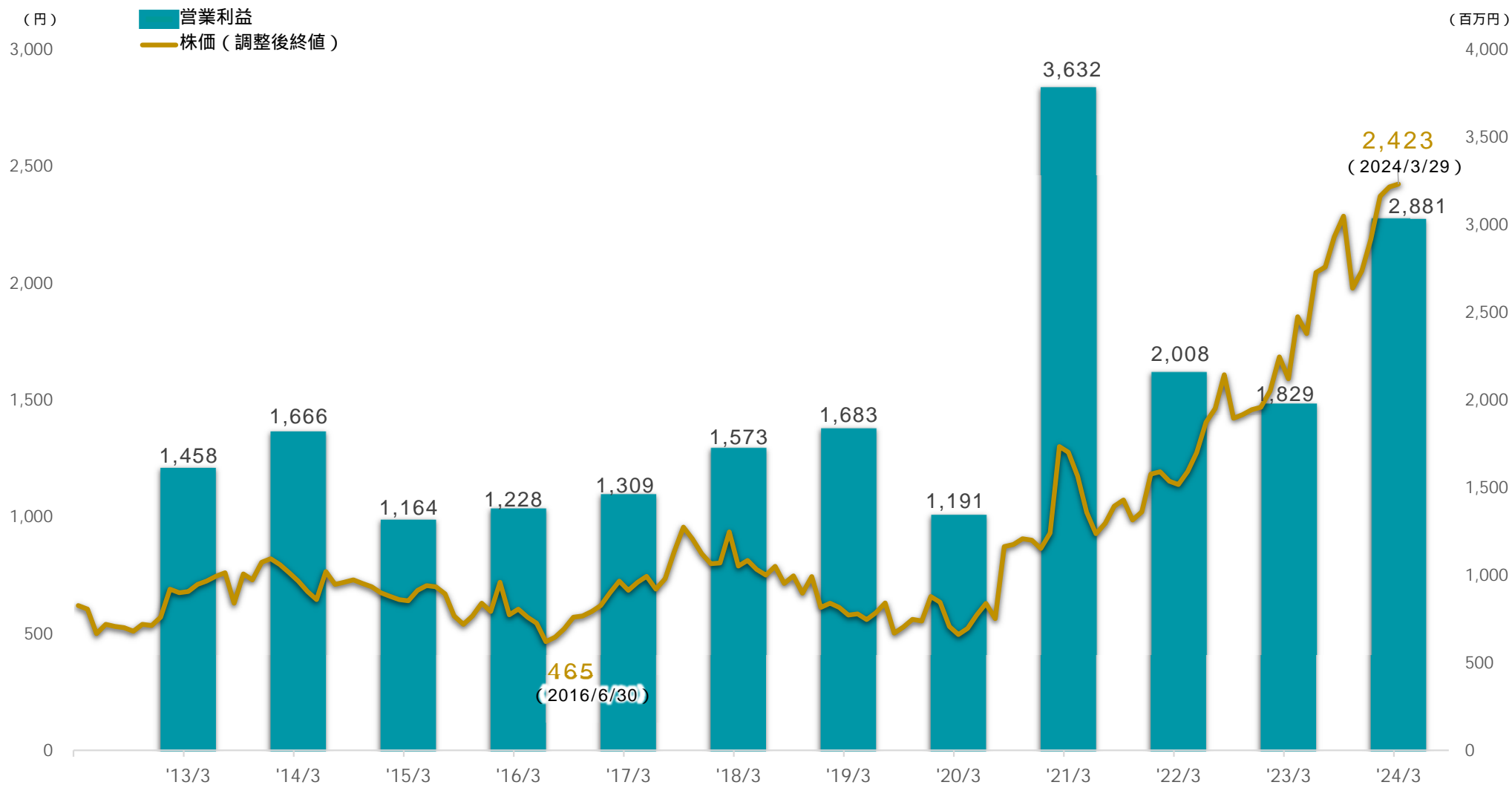
拠点

国内9カ所/海外24カ所

主要取引先

グンゼ株式会社、東レ株式会社、
東洋紡株式会社 他

直近10年間株価と営業利益の推移



グループ会社一覧【国内】

	国内関係会社	事業内容
工業製品	株式会社セントラル科学貿易	理化学機器、医療機器等の販売
	株式会社ジーマーク	花火、家具等の販売
	株式会社オフィス・メイト	不動産の管理および仲介業務
	桜物産株式会社	包装用フィルムや包装資材の加工・販売
繊維	株式会社いずみ	ファンデーションを主とした女性用下着等の企画・製造および販売
	G S I マルロンテックス株式会社	ストッキング・ソックス用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社クレオスアパレル	婦人衣料品および関連商品の企画・製造および小売・卸売販売
	株式会社G S I アブロス	カジュアルブランドやニット製品等の企画・製造および販売
	日神工業株式会社	各種繊維製品の製造・加工および販売
	但馬合繊株式会社	ストッキング・タイツ用他、原糸の撚糸加工および販売
	株式会社ソフィア	各種繊維製品の製造・加工および販売
株式会社S H A R E	婦人衣料品および関連商品の電子商取引に係る事業、小売及び卸売事業	

グループ会社一覧【海外】

	海外関係会社		事業内容
米州	GSI Holding Corporation	アメリカ	北米地域における持株会社
	GSI Exim America, Inc.	アメリカ	生地、アパレル、半導体関連商材、化成品、ホビー関連商材等の輸出入
	GSI Creos Brasil Ltda.	ブラジル	化成品、メディカル機器等の輸出入
欧州	GSI Europe-Import+Export GmbH	ドイツ	化成品、機械、その他工業製品の輸出入
東アジア	GSI Creos Korea Co., Ltd.	韓国	繊維関連商材、化成品、樹脂、その他工業製品の輸出入
	科立思管理（上海）有限公司	中国	繊維原料、生地、インナー製品、フィルム、化成品、その他工業製品の輸出入、アウターOEM業務等
	GSI Creos Technology (China) Co., Ltd.	中国	半導体関連商材の中国国内販売
	郡産貿易（深圳）有限公司	中国	繊維原料・製品、フィルム、その他工業製品の輸出入
	北京吉思愛針織有限公司	中国	ソックス等の製造、販売
	GSI Trading Hong Kong Limited	香港	繊維原料、生地、樹脂・フィルム等の輸出入
東南・南アジア	GSI Creos (Thailand) Co., Ltd.	タイランド	繊維原料、生地、インナー製品、化成品、その他工業製品の輸出入
	PT. GSI Creos Indonesia	インドネシア	繊維原料、化成品、その他工業製品の輸出入
	GSI Creos Vietnam Co., Ltd.	ベトナム	繊維製品、工業製品の卸売、輸出入
	GSI Creos India Private Ltd.	インド	化成品、その他工業製品の輸出入

GSI Creos

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手しているまたは入手可能な情報に基づき当社が判断・作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。